

全国農政連推薦・県農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも **百姓宣言**

「新年を迎えて。今年は何
ル回転」

【地元熊本が私の支えです。】

年末年始は地元で過ごし、JAGグループや関係団体へのご挨拶で駆け回りました。その間も、熊本から全国へ行ったたりきたり。ご案内いただいた賀詞交換会などに十分に対応できないことも多々ありました。

そうしたなか、1月20日に熊本ホテルキャッスルで開催した「新春の集い」には、700名を超える方々に会場に足を運んでいただきました。当選して2年半。初めてのイベントでした。発起人としてご協力いただいた皆様、当日、来賓をはじめご参集いただいた多くの方々、そして運営を支えてくれたJAの役員や後援会スタッフ、本当にありがとうございます。この感謝の気持ちを決意にかけて精進してまいります。

特に今年は、参議院議員選挙の年です。全国農政連は山田俊男先生の推薦を決定し、組織一丸となった支援体制となりました。4月には統一地方選挙も控え、本年は選挙イヤー。農業の実情に真摯に耳を傾けてくれる同志を政治の場に増やさなければなりません。私も一生懸命、頑張ります。引き続き、

ご指導をお願いいたします。

【通常国会が始まる。】

1月28日に通常国会が召集されました。平成最後の国会となります。今回は、参議院議員選挙の日程上、延長困難で実質的には短期決戦です。衆・参議院の国会対策委員会も連日、張り詰めたような緊張感を感じます。

まずは、補正予算と来年度予算の早期成立に全力をあげます。そして、農林水産関係では、農地中間管理事業の5年後見直しに伴う法改正の審議が予定されています。農地の利用集積を効率的に促進するための改正を盛り込みますが、第一に重要なことは、地域農業が健全に発展していくこと、地域農業を支える担い手にとってのメリットを示すことです。党内でも同時並行で議論が行われています。しっかりと現場の声を代弁し、制度改革への反映に努力してまいります。



▲青年部の会合で新年所信

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

全国を飛び回っています

【JA訪問を始めました】

本格的に、各県、各JAへの訪問を始めます。昨年秋から今年にかけて、和歌山、島根、福島、栃木、鹿児島、高知、愛知、山口、石川、千葉、埼玉、新潟、東京をはじめとする各県のJAを訪ねました。

また、昨年は、千葉、愛知、広島、京都のJA大会、熊本は大会前段の「農業経営危機突破大会」に出席し、挨拶をさせていただきました。県中央会、農政連の皆さんにおかれては、大変な段取りをさせていただきました感謝申し上げます。

今年の1月20日には、藤木先生の新春の集いに出席しました。多くの皆さんの参加で盛り上がり、私も決意を述べさせてもらいました。夕方の開会まで時間があつたので、藤木牧場を訪ね、当日の深夜に生まれたばかりの子牛が可愛くて、思わず笑みがこぼれました。

また、震災直後にお見舞いで訪ねていた被災地を通りましたが、山々は崩れたままで、3年経ち、家々は表側は片付いていますが、修復半ばであり、まだまだ避難されている方も多いといえます。防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を補正予

算で講じることができましたが、引き続き、皆様からの声を胸に、災害復旧支援対策に取り組みます。

【農水省に変化】

農地中間管理事業の5年後見直しについて、農水省は、これまで排除していたJAを中心とする「人・農地プラン」や「中心経営体づくり」の取り組みを機構に取り込み、さらには、農地の貸し手についても、これまでの機構による一方的な選択でなく、JA等の取り組みや意向をきちんと取り込む形で進められることとなりました。大きな転換です。

今通常国会で法案審議をしますが、こうした農地の問題を含め、私は、皆様と一緒に、地域を家族を農業を、そして協同の取り組みを大切に、政策の確立に全力をあげます。皆様からの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



▲藤木牧場を訪問